

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和元年9月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和元年9月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	9月1日~30日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 水質(一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	9月5日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

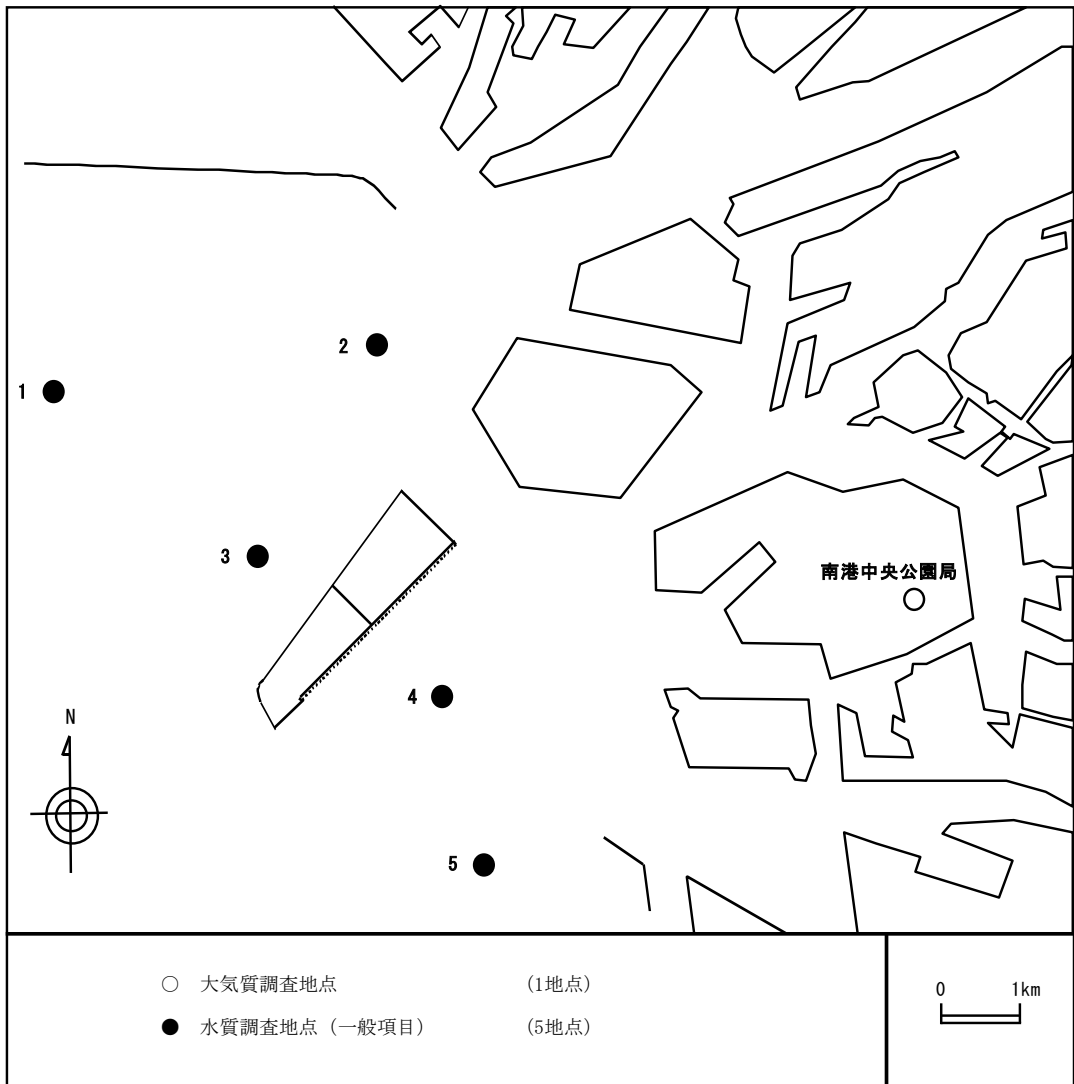
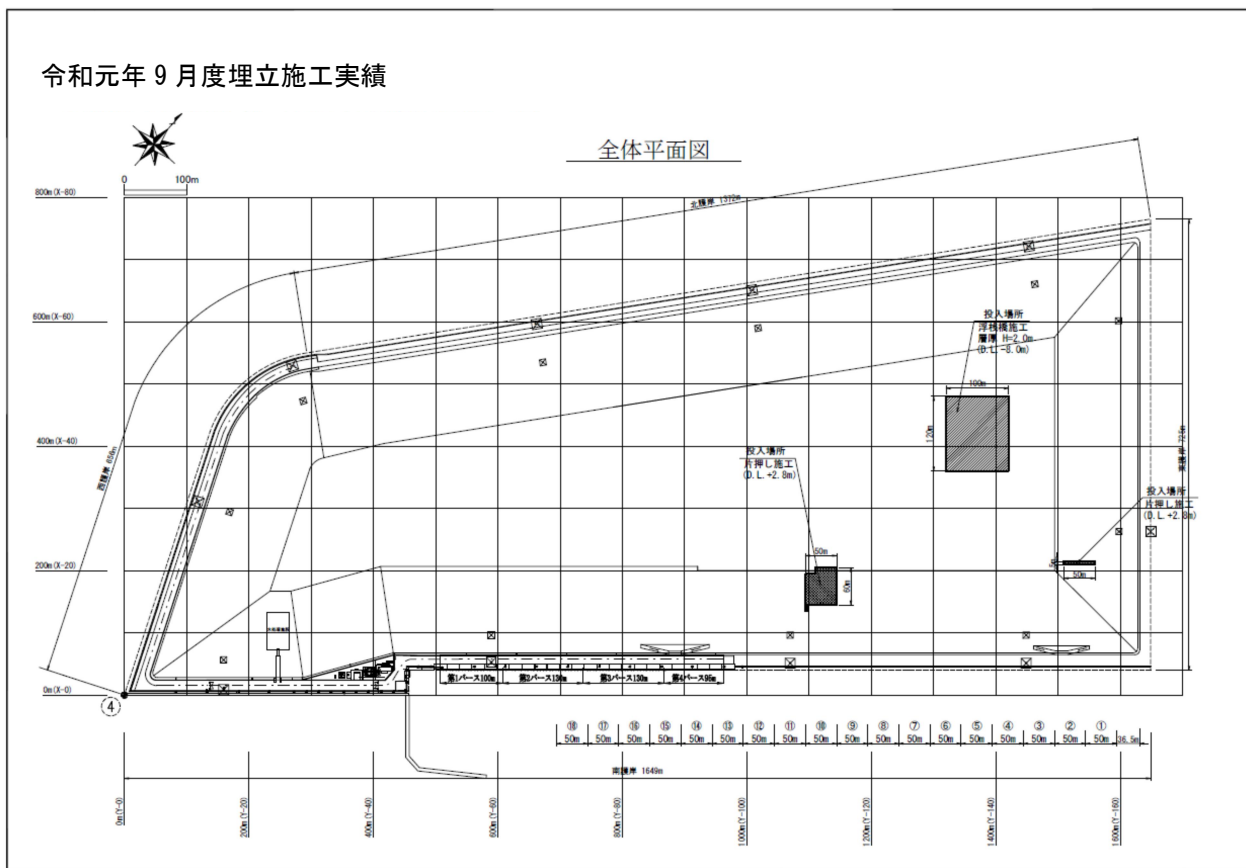


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和元年9月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
5,296,684	37.9

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.003ppmであった。また、日平均値の最高値は0.005ppm、1時間値の最高値は0.022ppmであり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.017ppmであった。また、日平均値の最高値は0.033ppmであり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m³以下、1時間値：0.20mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.015mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.037mg/m³、1時間値の最高値は0.057mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.3～8.6、下層で7.9～8.0の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点1(8.6)、調査地点2(8.5)、調査地点4(8.5)及び調査地点5(8.4)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で7.7～8.6であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.6～4.3mg/L、下層で0.7～0.8mg/Lの範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点1(4.3mg/L)、調査地点2(3.6mg/L)及び調査地点4(3.4mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 8.5~13mg/L、下層で 3.6~5.5mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層ではほとんどの調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 2 (4.0mg/L)、調査地点 3 (3.6mg/L)、調査地点 4 (4.2mg/L) 及び調査地点 5 (4.5mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.33~0.63mg/L、下層で 0.21~0.26mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.63mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.055~0.10mg/L、下層で 0.037~0.057mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.085mg/L)、調査地点 2 (0.073mg/L)、調査地点 3 (0.055mg/L)、調査地点 4 (0.10mg/L)、調査地点 5 (0.059mg/L) 及び下層の調査地点 3 (0.057mg/L) 並びに調査地点 4 (0.056mg/L) であった。

事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 4~12 度(カリン)、下層で 1~4 度(カリン) の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 4~13mg/L、下層で 1~6mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 29.0~132 μ g/L、下層で 1.7~5.9 μ g/L の範囲であった。

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表〔令和元年9月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	661
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	715
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	691
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果〔令和元年9月分〕

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	
日	1 (日)	0.004	0.014	
	2 (月)	0.004	0.005	
	3 (火)	0.003	0.005	
	4 (水)	0.004	0.009	
	5 (木)	0.002	0.005	
	別	6 (金)	0.002	0.007
		7 (土)	0.002	0.006
		8 (日)	0.002	0.007
		9 (月)	0.004	0.007
		10 (火)	0.005	0.013
値		11 (水)	0.004	0.011
		12 (木)	0.002	0.005
		13 (金)	0.001	0.003
		14 (土)	0.001	0.003
		15 (日)	0.001	0.004
	16 (月)	0.004	0.009	
	17 (火)	0.003	0.011	
	18 (水)	0.002	0.006	
	19 (木)	0.001	0.003	
	20 (金)	0.002	0.006	
21 (土)	0.001	0.003		
22 (日)	0.001	0.017		
23 (月)	(0)	(0)		
24 (火)	(0.003)	(0.010)		
25 (水)	0.002	0.005		
26 (木)	0.005	0.019		
27 (金)	0.005	0.017		
28 (土)	0.004	0.013		
29 (日)	0.004	0.006		
30 (月)	(0.009)	(0.022)		
有効測定日数 (日)		27		
測定時間 (時間)		661		
月平均値 (ppm)		0.003		
日平均値の最高値 (ppm)		0.005		
1時間値の最高値 (ppm)		0.022		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和元年9月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (日)	0.001	0.003
	2 (月)	0.008	0.051
	3 (火)	0.008	0.025
	4 (水)	0.007	0.034
	5 (木)	0.009	0.033
	6 (金)	0.013	0.046
	7 (土)	0.006	0.022
	8 (日)	0.002	0.007
	9 (月)	0.005	0.019
	10 (火)	0.005	0.025
別	11 (水)	0.004	0.013
	12 (木)	0.002	0.004
	13 (金)	0.006	0.023
	14 (土)	0.001	0.004
	15 (日)	0.001	0.001
	16 (月)	0.001	0.002
	17 (火)	0.002	0.005
	18 (水)	0.002	0.011
	19 (木)	0.002	0.004
	20 (金)	0.003	0.013
値	21 (土)	0.003	0.008
	22 (日)	0.002	0.008
	23 (月)	0.001	0.002
	24 (火)	0.004	0.009
	25 (水)	0.003	0.008
	26 (木)	0.009	0.037
	27 (金)	0.004	0.012
	28 (土)	0.002	0.007
	29 (日)	0.001	0.002
	30 (月)	0.006	0.019
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		715	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.013	
1時間値の最高値 (ppm)		0.051	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果〔令和元年9月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (日)	0.019	0.046
	2 (月)	0.020	0.042
	3 (火)	0.013	0.019
	4 (水)	0.019	0.029
	5 (木)	0.019	0.032
別	6 (金)	0.013	0.029
	7 (土)	0.008	0.014
	8 (日)	0.008	0.018
	9 (月)	0.013	0.020
	10 (火)	0.016	0.027
	11 (水)	0.018	0.035
	12 (木)	0.015	0.026
	13 (金)	0.023	0.038
	14 (土)	0.010	0.021
	15 (日)	0.006	0.011
	16 (月)	0.009	0.013
	17 (火)	0.018	0.024
	18 (水)	0.017	0.032
	19 (木)	0.016	0.024
	20 (金)	0.025	0.042
値	21 (土)	0.021	0.037
	22 (日)	0.009	0.022
	23 (月)	0.007	0.023
	24 (火)	0.019	0.041
	25 (水)	0.019	0.034
	26 (木)	0.033	0.061
	27 (金)	0.028	0.044
	28 (土)	0.020	0.036
	29 (日)	0.012	0.023
	30 (月)	0.032	0.064
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		715	
月 平 均 値 (ppm)		0.017	
日平均値の最高値 (ppm)		0.033	
1時間値の最高値 (ppm)		0.064	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和元年9月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (日)	0.020	94.9	0.047
	2 (月)	0.028	72.4	0.086
	3 (火)	0.021	62.6	0.041
	4 (水)	0.026	73.2	0.051
	5 (木)	0.028	67.7	0.046
	6 (金)	0.026	50.2	0.061
	7 (土)	0.013	56.5	0.031
	8 (日)	0.010	78.2	0.025
	9 (月)	0.018	73.1	0.038
	10 (火)	0.020	76.4	0.041
別	11 (水)	0.022	82.0	0.041
	12 (木)	0.017	90.7	0.030
	13 (金)	0.029	79.2	0.060
	14 (土)	0.012	87.6	0.025
	15 (日)	0.007	86.4	0.012
	16 (月)	0.010	86.8	0.015
	17 (火)	0.021	88.5	0.029
	18 (水)	0.019	87.3	0.043
	19 (木)	0.018	89.8	0.028
	20 (金)	0.028	89.5	0.046
値	21 (土)	0.024	88.8	0.045
	22 (日)	0.010	84.3	0.028
	23 (月)	0.008	85.7	0.025
	24 (火)	0.023	84.5	0.049
	25 (水)	0.022	88.0	0.042
	26 (木)	0.042	78.7	0.098
	27 (金)	0.032	88.4	0.056
	28 (土)	0.022	90.8	0.043
	29 (日)	0.013	90.1	0.024
	30 (月)	0.038	83.6	0.075
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		715		
月平均値 (ppm)		0.021		
日平均値の最高値 (ppm)		0.042		
1時間値の最高値 (ppm)		0.098		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		80.6		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和元年9月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (日)	0.037	0.057
	2 (月)	0.027	0.043
	3 (火)	0.014	0.027
	4 (水)	0.014	0.023
	5 (木)	0.011	0.027
	6 (金)	0.010	0.016
	7 (土)	0.009	0.029
	8 (日)	0.011	0.036
	9 (月)	(0.020)	(0.031)
	10 (火)	(0.029)	(0.036)
別	11 (水)	0.026	0.043
	12 (木)	0.010	0.015
	13 (金)	0.014	0.021
	14 (土)	0.012	0.016
	15 (日)	0.012	0.016
	16 (月)	0.013	0.019
	17 (火)	0.011	0.016
	18 (水)	0.011	0.016
	19 (木)	0.010	0.013
	20 (金)	0.012	0.019
値	21 (土)	0.013	0.018
	22 (日)	0.010	0.021
	23 (月)	0.010	0.024
	24 (火)	0.006	0.013
	25 (水)	0.009	0.012
	26 (木)	0.017	0.026
	27 (金)	0.018	0.026
	28 (土)	0.017	0.032
	29 (日)	0.014	0.024
	30 (月)	0.022	0.036
有効測定日数 (日)		28	
測定時間 (時間)		691	
月平均値 (mg/m ³)		0.015	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.037	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.057	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔令和元年9月分〕

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (日)	0.5	1.2	SE	CALM
	2 (月)	0.6	1.2	W, SW	CALM
	3 (火)	0.7	1.3	WSW	W
	4 (水)	0.8	2.5	SE	ESE
	5 (木)	0.9	1.8	E	ENE
	6 (金)	0.9	1.7	WSW	ENE
	7 (土)	1.1	3.1	ESE	ENE
	8 (日)	1.0	1.7	E, SE	WSW
	9 (月)	0.8	1.4	WSW	W
	10 (火)	0.5	1.1	SW	CALM
別	11 (水)	0.7	1.3	WSW, SW	CALM
	12 (木)	1.0	1.6	NNE	N
	13 (金)	1.2	2.4	NE	ENE
	14 (土)	1.2	1.8	E	ENE
	15 (日)	1.0	1.8	E	NE
	16 (月)	1.0	1.9	N	N
	17 (火)	0.8	1.7	NE	NNW
	18 (水)	0.9	2.0	N	N
	19 (木)	1.0	1.7	N	N
	20 (金)	0.7	1.7	ENE	ENE
値	21 (土)	0.9	1.4	NNE, N, NE	NNE
	22 (日)	1.6	3.4	E	NE
	23 (月)	1.4	3.4	SSW	W
	24 (火)	0.7	1.3	N	N
	25 (水)	0.8	1.8	NNE	NNE
	26 (木)	0.6	1.4	ENE	CALM
	27 (金)	0.7	1.4	NE, ENE	ENE
	28 (土)	0.8	1.8	SE	CALM
	29 (日)	0.6	1.1	SW	CALM
	30 (月)	0.5	1.0	ESE	CALM
測定時間 (時間)		719			
月平均風速 (m/s)		0.9			
月最大風速 (m/s)		3.4			
月最多風向 (16方位)		N			

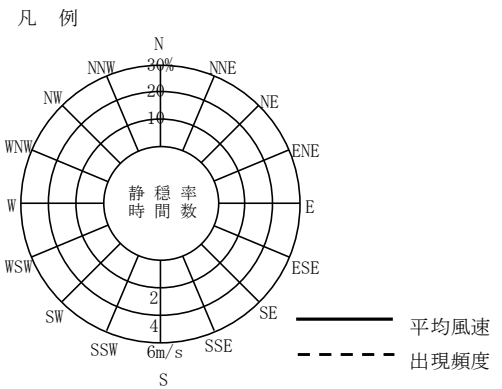
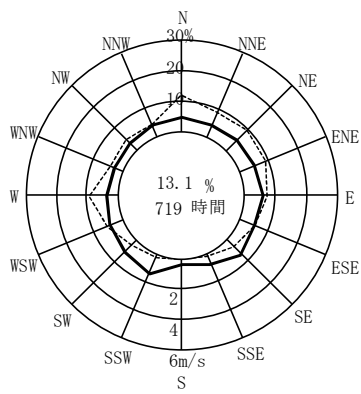
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和元年9月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	61	65	63	51	37	20	6	2	9	16	40	69	33	38	31	84	94	719
頻度 (%)	8.5	9.0	8.8	7.1	5.1	2.8	0.8	0.3	1.3	2.2	5.6	9.6	4.6	5.3	4.3	11.7	13.1	-
平均風速 (m/s)	0.9	1.0	1.0	1.2	1.0	1.3	0.7	0.4	1.4	1.1	0.9	0.8	0.6	0.7	0.9	1.0	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和元年9月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和元年9月分〕

調査日：令和元年9月5日

調査点 項目		調査点					最小値 ~ 最大値	平均値
		1	2	3	4	5		
時刻		11:25	11:10	10:53	10:32	10:17	-	-
透明度 [m]		2.3	1.2	2.7	1.0	2.1	1.0 ~ 2.7	1.9
水温 [°C]		28.2	28.0	28.0	28.8	28.8	28.0 ~ 28.8	28.4
		25.0	25.2	25.0	26.0	26.0	25.0 ~ 26.0	25.4
塩分 [-]		19.0	23.2	25.4	19.6	23.6	19.0 ~ 25.4	22.2
		30.8	31.4	31.8	30.7	30.9	30.7 ~ 31.8	31.1
濁度 [度(カリン)]		12	8	4	11	4	4 ~ 12	8
		1	2	4	4	2	1 ~ 4	3
浮遊物質 (SS) [mg/L]		9	13	10	10	4	4 ~ 13	9
		1	1	3	6	2	1 ~ 6	3
水素イオン濃度 (pH) [-]		8.6	8.5	8.3	8.5	8.4	8.3 ~ 8.6	-
		8.0	7.9	7.9	8.0	8.0	7.9 ~ 8.0	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]		4.3	3.6	2.6	3.4	3.0	2.6 ~ 4.3	3.4
		0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7 ~ 0.8	0.7
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	13	11	8.7	11	8.5	8.5 ~ 13	10
	飽和度 [%]	5.5	4.0	3.6	4.2	4.5	3.6 ~ 5.5	4.4
全窒素 (T-N) [mg/L]		186	160	128	159	126	126 ~ 186	152
		80	58	52	62	66	52 ~ 80	64
全窒素 (T-N) [mg/L]		0.63	0.45	0.38	0.60	0.33	0.33 ~ 0.63	0.48
		0.21	0.24	0.26	0.26	0.22	0.21 ~ 0.26	0.24
全磷 (T-P) [mg/L]		0.085	0.073	0.055	0.10	0.059	0.055 ~ 0.10	0.074
		0.037	0.049	0.057	0.056	0.045	0.037 ~ 0.057	0.049
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]		132	71.6	40.0	59.4	29.0	29.0 ~ 132	66.4
		5.8	2.8	1.7	5.9	2.5	1.7 ~ 5.9	3.7

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
